

令和7年度事業計画書

令和7年度人事について

1. 令和7年度人事体制

【主な人事体制】

彦岳の太陽

(職名)

(氏名)

(主な業務)

施設長・特養管理者

澤木五月

施設(彦岳の太陽)の統括的管理を行う。

副施設長・デイ管理者

前田修二

介護相談業務および施設長の補佐を行う。
また、通所介護において事業所の管理を
一元的に行う。

2. 令和7年度「第三者委員会」について

(氏名)

(職歴等)

岩瀬豊子

社会福祉法人百徳会評議員

高野信重

社会福祉法人百徳会監事

高津淳子

佐伯中央病院保健師

令和7年度事業計画

社会福祉法人 百徳会

運営方針

新型コロナ、インフルエンザ等の収束を願いつつ、利用者や職員の健康管理、感染対策を重視し昨年度同様感染防止に努めてまいりたいと思います。人材不足に対しては、今年になり、3名の職員が入職し、徐々に職員体制も整いつつある状況です。

職員も増えつつある中で彦岳の太陽の入所定数、入所29床、ショート4床デイサービス1日平均15～17人を目標に、質の高い介護の提供に努めてまいります。また、介護職の職業病とも言われている腰痛予防に対しては、今年度より、

【ノーリフティングケアの宣言】を行い委員会を立ち上げ、研修会を進めていくことで腰痛予防に繋がっていきたいと思います。ノーリフティングケアの現在実践している内容としては、リフト浴、スライディングボードの使用、フレックスボード等を利用し、時々職員にアンケートをとり、対応しているところです。その結果「腰痛が軽減した」との回答が徐々に増えてきていることが把握できています。今後も継続していくことで職員のモチベーションを高めることに繋がるのではと実感しました。

最後に介護ソフトを導入しつつも、実際に使用できる職員が少ないため、再度職員に指導を行い、記録時間の短縮に繋げることにより、仕事への効率が上がるのではないかと考えています。

【社会福祉法人 百徳会 理念】

誠実 ・ 奉仕 ・ 努力

【彦岳の太陽 基本方針】

- ・利用者様の気持ちを大事にし、家庭的で太陽のように心あたたま施設を目指します。
- ・地域のニーズに応え、奉仕の心で地域福祉の発展に貢献します。
- ・職員は探究心を持ち日々努力研鑽し専門職としての向上を目指します。

(1) 役員会の開催

理事会 年4回（令和7年6月・9月・12月・令和8年3月）

評議員総会 年1回（令和7年6月）

(2) 事業の運営

（事業の種類及び名称）

（介護保険指定事業）

第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム彦岳の太陽

地域密着型介護老人福祉施設

（従来型、ユニット型）

第二種社会福祉事業

老人短期入所事業（彦岳の太陽）
デイサービスセンター彦岳の太陽

短期入所生活介護
地域密着型通所介護

（３）地域密着型事業にかかる会議の開催及び外部評価等

運営推進会議の開催（概ね２月に１回）

- ・対象事業所／特別養護老人ホーム彦岳の太陽
 デイサービスセンター彦岳の太陽

（４）主な委員会活動

- ・教育委員会
- ・感染対策予防委員会
- ・企画委員会
- ・リスクマネジメント委員会
- ・身体拘束廃止・虐待防止委員会
- ・施設環境整備委員会
- ・防災委員会
- ・第三者委員会
- ・ノーリフティング委員会
- ・生産性向上委員会 等

（５）福利厚生及び安全衛生

- ・関係機関主催の研修会への参加並びに内部研修会の開催
- ・各種専門資格取得の推進
- ・職員健康診断の実施（夜勤業務従事者は年２回実施）
- ・インフルエンザ等の予防接種の推進
- ・腰痛予防への取り組み
- ・防災訓練の実施
- ・貯水槽の検査、清掃
- ・浄化槽検査、害虫駆除 等

（６）その他

- ・地域資源の活用と地域交流の推進
- ・地域貢献活動の推進
- ・ボランティア、研修、実習者の受入れ
- ・嗜好調査の実施
- ・広報誌の発行